

児童生徒の安全と地域との関わり

—附属池田小学校事件から学ぶ—

学校法人冬木学園 畿央大学

教育学部教授 現代教育学科長 安井義和 氏

—講演を聞いての感想—

「八四運動」

本日は、大変貴重なお話ありがとうございました。先生のお話の中で安心・安全・環境を教員と地域の人々、みんなで力を合わせていき、見守ることが大切だと改めて気づかせていただきました。

八四運動は「はっ」としました。私の娘が小1になるにあたり、一人で学校にいけるようにと通学路と一緒に歩いていると、畑仕事のおばあちゃんや防犯隊の人たちの笑顔や声掛けと出会い、親として安心したのを思い出しました。子どもを守る意識を高めて今後も頑張っていきます。ありがとうございました。

「地域の大人として ～危機管理意識を高める～」

子どもたちの命を守るために大切なこととして学校の先生方、保護者、地域の方々すべての大人の危機管理意識が求められるのだと改めて思いました。2001年6月に起こった附属池田小学校の事件では8名の尊い命が奪われ、多くの子どもたちが傷ついています。痛ましく悲しい出来事です。私も子をもつ親として、学校は安全・安心な場所であってほしいと心から願っています。事件を忘れることなく受け止めてそこから学ぶことは大切なことだと思いました。この出来事を深く受け止めて命を守るためにできることを真剣に考えて実践していかなくはなりません。誰かがやってくれるだろうではなく、親として地域の大人として子どもたちが健やかに育むため“守ろう”という気持ちになりました。安井先生の貴重な講演にめぐりあうことが出来て心から感謝しています。ありがとうございました。

「求められる、その場での対応力」

事件のことは知っていましたが、こんなに具体的に事件の詳細を聞いたのは初めてでした。訓練と実際のあまりの大きな差に、今後の対応について考えることが多々ありました。マニュアルも大事ですが、その場その場でいかに対応していくか、その力を教員がどうやってつけていくのか、子どもたちにはどんな事前の指導が必要なのか、学校に戻って職員で考えてみたいと思います。貴重な機会をどうもありがとうございました。

「二度と起こさない」

私たちが想像もできないはかり知れない程の恐怖の中、傷ついた子どもたち、命をおとした子どもたちはどんなに無念だったかと思います。その子どもたちのためにも、今、安井先生が今回のような活動をされていらっしゃると思いますが、ものすごくいろんな面で大変だったと思います。

今日、先生の活動を聞くことが出来て本当によかったと思います。こんなひどい事件はもう二度とおきないように、私1人が出来ることは本当に微々たるものですが、子どもが通う学校の活動にできる限り協力していきたいと思います。安井先生、走馬灯のようにいろんなことが思い出されると話されていましたが、辛いことも思い出されると思います。お身体大切にしてください。

「不審者対策 ～まずはできることから～」

安井先生の大変貴重なお話を聞かせていただき、同じ子どもたちと接する仕事をさせて頂いている者として、胸が痛くなる思いでした。どんなに子どもたちは怖かっただろう。また、先生方も怖かっただろうと思います。あとで、こうすれば良かったのでは、ああすれば結果が違ったかも、言うのは簡単ですが実際その場にいたら自分は何が出来るだろうと考えると想像もできません。この機会に不審者に対する防犯について考え出来ることから取り組んでいきたいと思いました。自分の子どもはもちろん、大切な子どもたちを守っていくことが出来るように心がけていきたいと思います。

「普段からできることと工夫を」

子をなくした親は何という“言葉はない”それほど悲しいことだ。この事件は5分間の間に起こった。その間、子どもたちを守るのは先生しかいない。今一度、この重みをしっかり受け止めて何かできることを普段から進めなければと思った。不審者を見つけるように壁を作らない。見つけたことをすぐに伝えられるワンプッシュなどいろいろな工夫がある。今日のことを大事にしたいと思います。

「地域の見守りの大切さ」

見守りがどれだけ大事かということを改めて感じ考える機会になりました。学校だけでなく町内でも何気ない挨拶をかわす、地域の活動に参加し町内のつながりを強くして地域全体で子どもたちに目が届くようにしていかなければならないと思います。人と人とのつながりが大切だと思いました。

「責任」

仕事柄、子どもを守る立場を再認識させていただく機会を与えていただきました。親の立場として我が子をあずけている以上守っていただきたい気持ち、あずかる側の責任など今一度考えたいと思いながら参加させて頂きました。とても良い講座ありがとうございました。